

伏見天皇本影印

源氏物語

五

古典
文庫

伏見天皇本影印

源氏

江苏工业学院图书馆
藏章

五

古
典
文
庫

平成四年一月二十五日印刷発行
非売品

編者 吉田幸一

五
発行者 吉田幸一

語物語氏源

印刷者 白橋印刷所

発行所

114

東京都北区西ヶ原
三ノ三四ノ一二

古典文庫

電話(三九一〇)二七一七
振替口座東京九・一四五九七番

第五冊 目次

凡 例	三
元 薄 雲	五
二〇 朝 顏	一〇三
二 少 女	一六七
三 玉 鬢	二九九
所収本書誌	四一五

凡例

一、本書には、架蔵『源氏物語』五十四帖三十二冊を十四分冊に複製するに当たり、その第五冊目として、「薄雲・朝顔合一帖」、「少女一帖」、「玉鬘一帖」の三冊を縮小影印して収めた。

一、影印するに当たり、大体次のようにした。

1 原本諸帖には、首尾に白紙（遊紙）の有無の相異がある。首の白紙一丁には、後人による巻名の押紙が有るものは扉の役目をしている。ないものは、白紙が一丁となる。尾の白紙も同時に、有無の別があるが、本書では、首尾の白紙は各一丁以外は省略した。

2 原本の丁付は、各帖の巻ごとに付けたが、合一冊の丁付は、最初の扉または遊紙から付け、表・裏の別はオ・ウとした。

3 諸巻合一帖の冊子には、巻名が替わること、丁付を一オから改めて付けた。

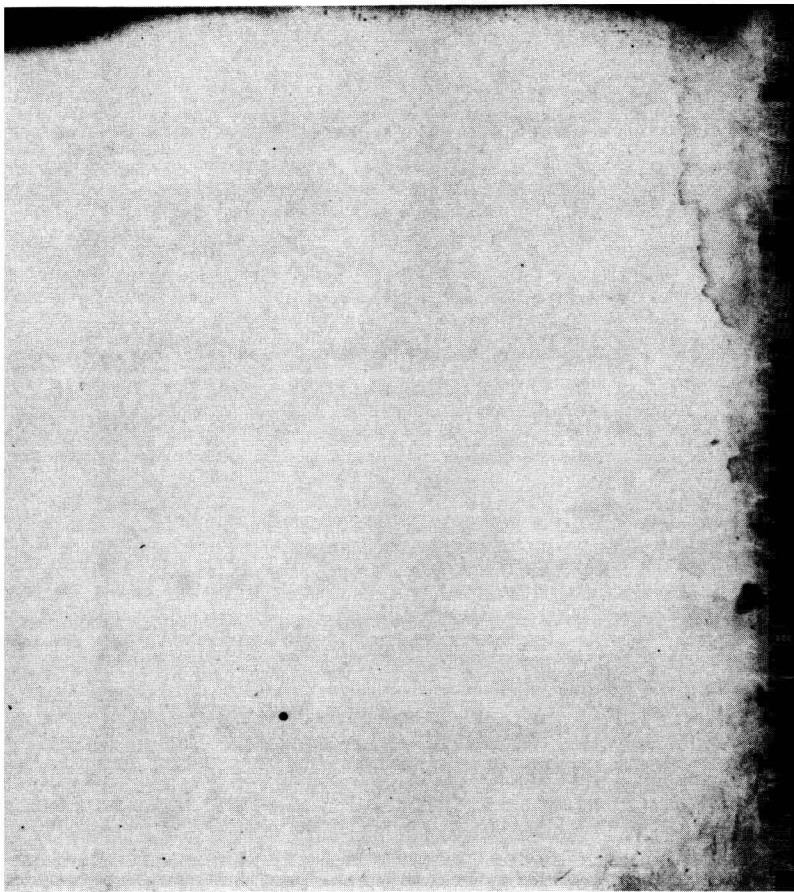
4 五十四帖の卷名は、現今通行の漢字表記とした。（例、權・朝がお↓朝顔。
をとめ・乙女↓少女。）

5 モノクロ影印での原本の汚れは、表紙は文様の剝落、本文は多く火水による損傷部分、裏うつりが出ている場合に限るといっても過言ではない。そういう状態を主として知っていたべく為に、原色版を別に一括して、十四冊中、比較的頁数の少ない冊子に納れる予定である。

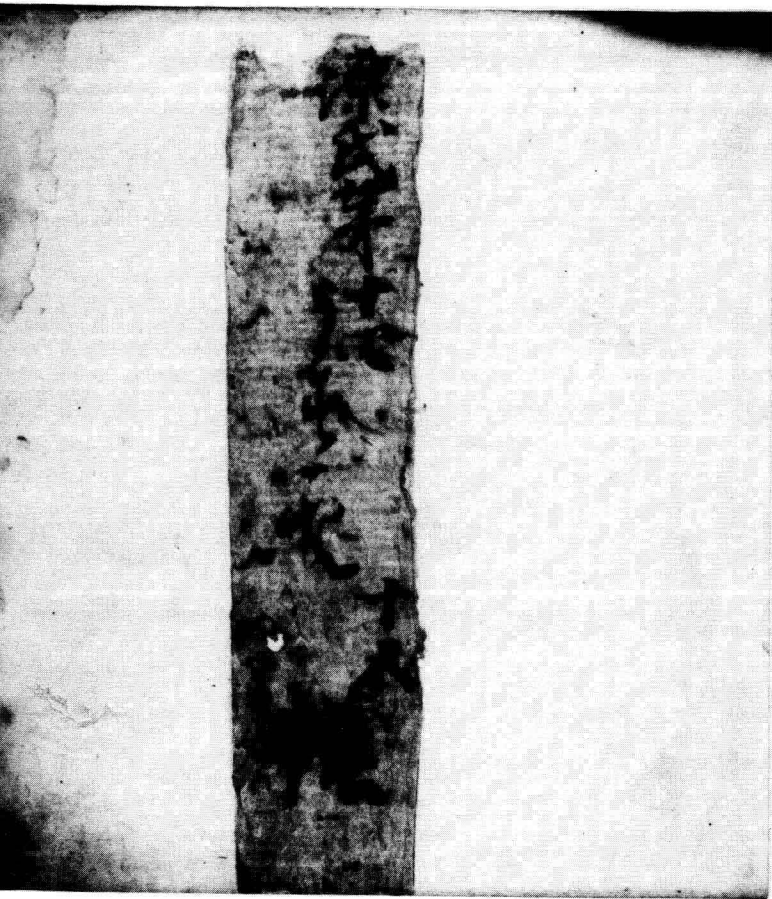
6 書誌は、各冊（十四分冊）ごとに、巻末に記した。



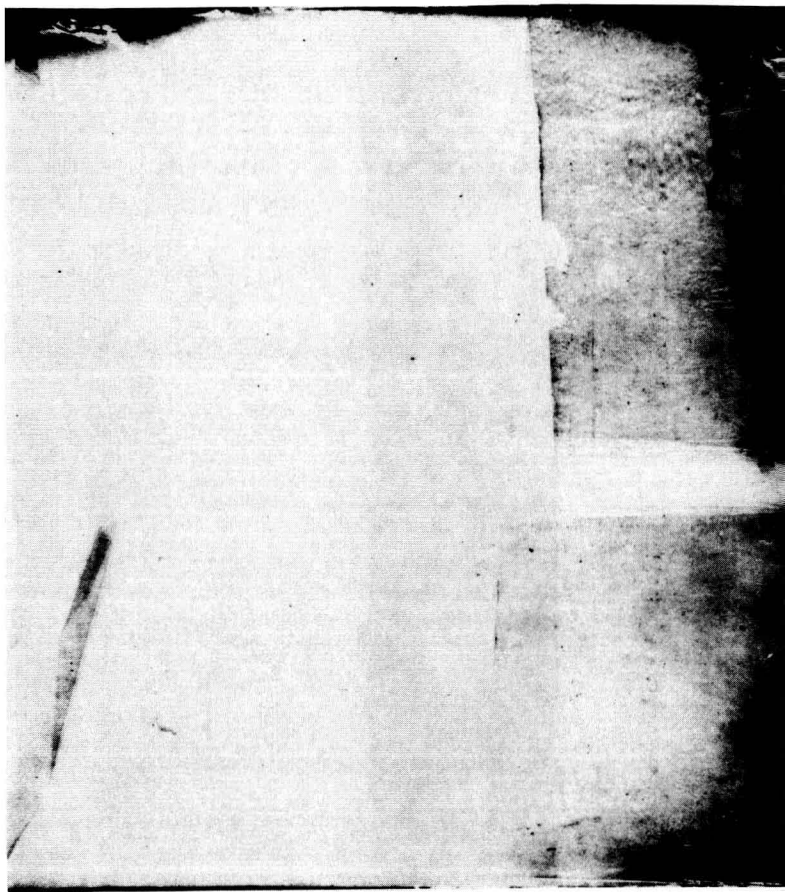
薄雲（表紙）



薄雲（見返し）



薄雲（一才）



薄雲（一ウ）

[illegible]

薄雲（二ウ）

[illegible]

女君の御ありさまのにもふやうなる
事をもつて御心をいゝ人へ伴り
もちろめいゝにさゝいふるに
いゝといふもいゝのいゝあき
御心乃なりなりなり——にさるる
帰つるおひるの御すゝもあき
わゝすゝもいゝ有るもいゝしはく羅の
巾中ふゝるれもいゝつゝふゝるは
世思や〜御心もいゝなり〜人へ
な〜いゝいゝいゝいゝいゝいゝいゝ

薄雲（三ウ）

かきすふまらに人々を
——にほすゆわん我かき
きくしてはふきおひ
とけはちのわうつにいわ
わうつふきはふくあき
きわなふふくふくは
ゆにふふふふふふふ
てけふふふふふふふ
ふふふふふふふふふ
いふふふふふふふふ

